

●鹽島仁吉君校

經濟叢書 大學或問 熊澤蕃山著 一名經濟辯

四六判 全一冊 價郵稅共金拾錢

世の我が邦近古の學者に就きて政治經濟の才を求むる者、皆第一に指を熊澤蕃山に屈せざるはなし、蓋し彼は王佐の才ありとして嘗て一世に推重せられしものにして、好みて政治經濟の事を論じ、而して其實際に施設したるもの亦少からざるなり、其生祖徠甚て人に答て曰く、承問、熊澤集書、不佞未見其書、曾聞其人太聰明、蓋百年來儒者巨擘、人ト則熊澤、學問則仁齋、餘子碌々不足其數也、夫れ徠は古學を以て關東に鳴り、先業を輕視して推服する所甚だ少かりし人なり、然るに蕃山に對して斯の如き言を爲し、之を見れば、亦以て彼れの英才たりしを見るべきなり、而して此書は則ち彼れの政治經濟の意見を登載せるものなり

●鹽島仁吉君校

經濟叢書 政談 荻生徠著

四六判 全一冊 價郵稅共金三拾錢

本書の結論に曰く、御政務の上の事は明から様に人に語るべきとにあらざる故、此の物語は弟子にも書せ待らず、自身老眼惡筆にて認め待るなりと、此書は斯る秘書の今日に傳はりしものなり、而して舊政府の政弊(幕府諸侯とも)細大漏さず、之を古聖人の教訓に徴して論辯せり、嗚呼古を稽へて今の政治を論せんとするもの豈に一讀せざるべけんや

●鹽島仁吉君校

經濟叢書 經濟錄 太宰純著

四六判 全一冊 價郵稅共金四拾錢

著者の言に曰く、孔子の道は先王の道なり、先王の道は天下を治むるの道なりと、又曰く、凡そ天下國家を治むるを經濟と云ふと、而して此の書は即ち先王孔子の道に準據して政務の要を論述せる者にして、正に史記の八書、漢書の十志等に比すべきものなり、蓋し漢土古聖人治國平天下の道を知らんと欲する者は此書を讀むに若かざるべし

●鹽島仁吉君校

經濟叢書 草茅危言 中井積善著

四六判 全一冊 價郵稅共金三拾錢

著書の言に曰く、總じて政をするに舊害を除かざれば新澤を施すに所なし、况や弊害既に改まれば、利澤自ら其の中に存して、別に施すを待ざるものもあるをやと、著者の如きは能く政治の秘訣を解せるものと謂ふべし、宜なるかな其の所論の多く時弊に的中せるや、今や時勢一變せりと雖も、苟も政治に志あるもの豈に一讀せざるべけんや



●經濟雜誌社譯

經濟叢書

# 萬國通商史

地圖 挿入

四六判 全一冊

價郵稅共十錢

本書は英人ロベルト、ソームルス氏の著にして敘事簡明、古今各國通商の大勢自ら瞭然たり、商業家は勿論學校生徒の教科用として最も適切な書なり、

●白國ド、ラブレイ氏著 ●田口卯吉君序 ●英國ポード氏譯 ●牧山耕平君重譯

第一高等學校教科用

## 再版 經濟學粹

小像 小傳入

四六判 全一冊 本綴

定價金八拾錢 郵稅金貳拾錢

此書は新派經濟學者中別に一旗幟を建たる碩學ド、ラブレイ氏が普通經濟學の體例を革新し一機軸を出したる新著にして其主義は道德の實踐爲政の寛公を旨とし以て利用厚生之道を講ずる者にして泰西の學校は過半此書を其教科書に用ひ居ると云ふ以て其良書たるを知るべし

●古雅なる繪畫入。改良半紙刷。紙百八十六頁

職人 盡し

# 七十一番歌合

和一本 全一冊

價郵稅共金廿五錢

此書の編者詳かざれども世に歴史上考證として諸書に引用さるゝ處なり、其原品は繪巻物として故實家の秘匣に藏し未だ世に普及せず、當時民間七十一種の職業を畫き月と戀とを題として合種二首づゝの歌を詠し之に判の詞を加へたる者なり、即ち殆んど當時の職業を網羅したる者にして、其圖と云ひ其の詞と云ひ足利時代の風俗を觀るべき一大珍書なれば、歌道に志す人に非るも歴史上の參考として各人一本を座右に置くべきものなり

## ●新日本

内務大臣伯爵樺山資紀君題字 前臺灣臺北縣書記官仁禮敬之君著

# 清國商話

第一判 全一冊

價郵稅共金貳拾錢

本書は屢に官命を奉じて清國に渡航し多年該地に在て親しく商業の狀況を取調べ歸朝後職を農商務省に奉じて商工局商事課長たりし仁禮敬之君が清國商業に關する實況談にして書中載する所の者は商賣の狀態賣買取引の景况等尙も商事に關する事項は細大網羅し一も漏らす所なき良書なり



●米國文學博士松平君平君著

# 海外製茶貿易意見

四六判  
全一冊

價郵稅共金十五錢

(二十二)

此書は筆を我海外貿易の二大要素たる製茶貿易制度に起し、米國の茶況を説き、現今製茶貿易上一大危機の伏在するを警告し、日本茶の改良新工風を論じ、貿易擴張の畫策を以て編を終ふ、其備考には茶の由來を記述し、世界に於ける茶の生産消費を詳論せり

●英國碩學イングラム氏著

●北陸英和學校長阿部虎之助君譯

# 哲理經濟學史

菊一冊  
全一冊  
本綴

價郵稅共金九十錢

本書は曩に英國百科全書中經濟學に關する事項を擔任して名聲内外に噴々たる近世の碩學イングラム氏の著にして、希臘、羅馬の古代より近世に至る歐米經濟思想の發達を歴史派の位置より哲理的に敘述論評せり其直ちに獨逸語に翻譯せられたるを見れば又以て本書の價値を喋々するを要せざるべし譯文は最も精確最も簡明能く原著の意を盡せり

●米國ミシガン大學校教授ドクトル、エチ、シ、アダムス君  
●日本同志社法學校教頭ドクトル、小野英二郎君合著

# 國債及 地方債 公債論

價郵稅共  
紙表紙製本金六拾錢  
布表紙製本金七拾錢

此書は國債の沿革、國債より生ずる政治上、社會上、經濟上の利害、軍事財政策、軍事財政の整理、國債の種類、國債募集償還の方法、地方債の發行、整理、監督、等凡そ國債及地方債に關する諸問題は悉く精細明瞭に之を論ぜざるものなし又附録として我國國債の沿革、公債に關する法令、各國公債に關する最近の統計表、財政學に關する参考目錄等あり

●藤木長太郎君編述

# 經濟原則

四六判  
全一冊

價郵稅共金貳拾錢

此書は經濟學の原理原則を最も簡明に敘述し、且其の骨髓たるべきものを系統的に分類して表となし、讀者をして一目瞭然たらしむ、故に初學者の爲めに適當なるは勿論、既に經濟學上の普通智識を備ふる者亦之に依りて其記憶を新たにするの便利あり

(二十三)



●日本鐵道會社運輸課長足立太郎君著

# 歐米鐵道視察

全一冊判

價郵稅共金四拾錢

此書は我國鐵道會社に有名なる足立太郎君の新著にして昨年君が米國を經て歐洲に渡り英、佛、獨を初め伊、白、埃、和、蘇等の諸國を巡回し各鐵道、各工場、並に各製造所等に就て精密に視察せられたる實際の記録たり

●子爵長岡護美君題字 ●邦舟木村弦雄君、鼎軒田口卯吉君  
●文學博士井上哲次郎君序 ●古城貞吉君著

# 支那文學史

全一冊判

價郵稅共金壹圓八十錢

此書は著者が數百部の漢書を涉獵參考して數年の刻苦を費し支那文學三千年の事蹟を叙述したるものにして、之を支那文學の起原、諸子時代、漢代の文學、六朝の文學、唐朝の文學、宋朝の文學、金元間の文學、明代の文學、清朝の文學の九篇に分ち、每篇歴代大家の小傳を掲載し其詩文の精粹を抜抄したる古今未曾有の傑作なり

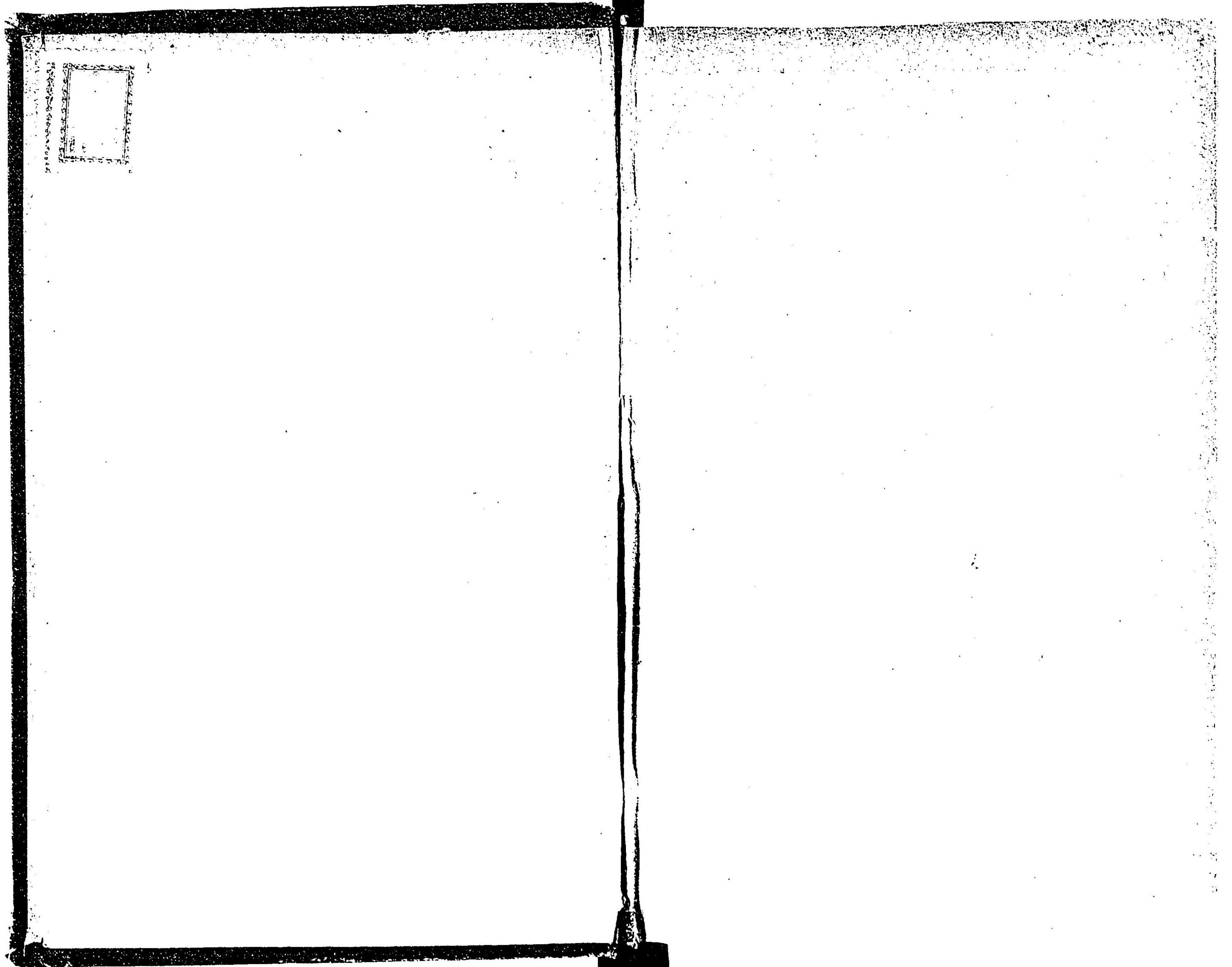
明治三十年九月

東京市京橋區彌左衛門町七番地

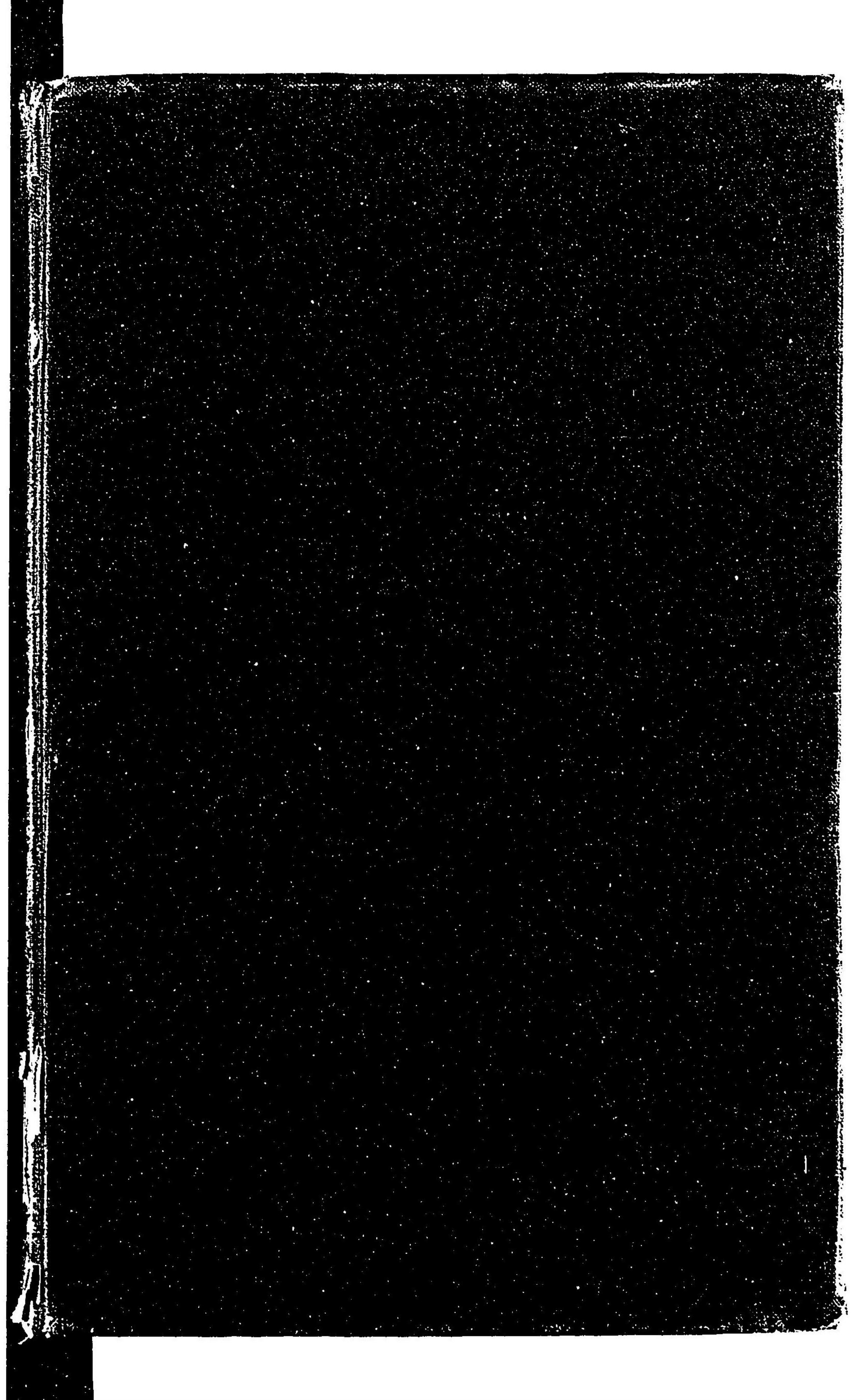
會社名 經濟雜誌社

(電話番號本局千二百二十三番)

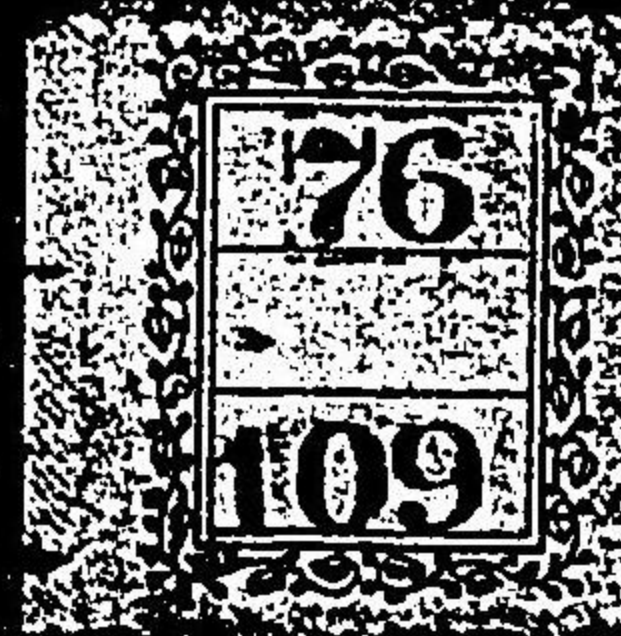












026762-000-3

76-109

暹羅王国

函南商会 / 編

M30

ADD-0461





